

カンピロバクター・ジェジュニのGlcNAc-1-リン酸ウリジル転移酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1492

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 N-アセチルグルコサミン-1-リン酸ウリジル転移酵素 (GlmU) は、原核生物に特有の二機能酵素であり、糖ヌクレオチジル転移酵素 (SNT) のファミリーに属します。この酵素は GlcNAc-1-P と UTP に結合し、ウリジル転移反応を触媒して、細胞壁合成の重要な前駆体である UDP-GlcNAc を合成します。

別名 N-アセチルグルコサミン-1-リン酸ウリジル転移酵素; GlmU; EC 2.3.1.157

製品情報

種 カンピロバクター・ジェジュニ

由来 E. coli

EC番号 EC 2.3.1.157

純度 SDS-PAGEによる最小95%

単位定義 1ユニットは、37°CでGlcNAc-1-PとUTPから1μmolのUDP-GlcNAcを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。